

## 発掘調査で明らかになった三宅西遺跡における土地利用のうつりかわり

井上 智博（公益財団法人大阪府文化財センター）

### 要旨

今回の講演では、三宅西部地区土地区画整理事業に伴って、令和4～5年度に実施した三宅西遺跡の発掘調査の成果をご紹介します。調査では、弥生時代後期～埴内式期頃（2～3世紀）の水田、古墳時代中期（5世紀）の流路や水流制御のための施設（水碓）、江戸時代（17～18世紀）の野中地の堤などが見つかりました。今回の調査成果と、阪神高速道路大和川線建設に伴う調査成果を合わせることで、この遺跡の土地利用のうつりかわりの様子がわかってきました。

- はじめに
- 三宅西遺跡周辺の地形条件
- 発掘調査で明らかになった地形のうつりかわりと人間活動

縄文時代・弥生時代・古墳時代中期・古墳時代後期～奈良時代・奈良時代以降

- まとめ

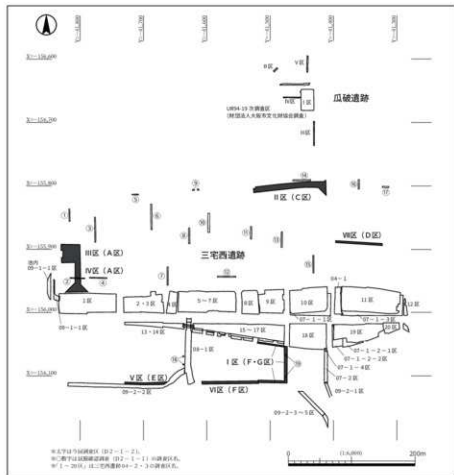
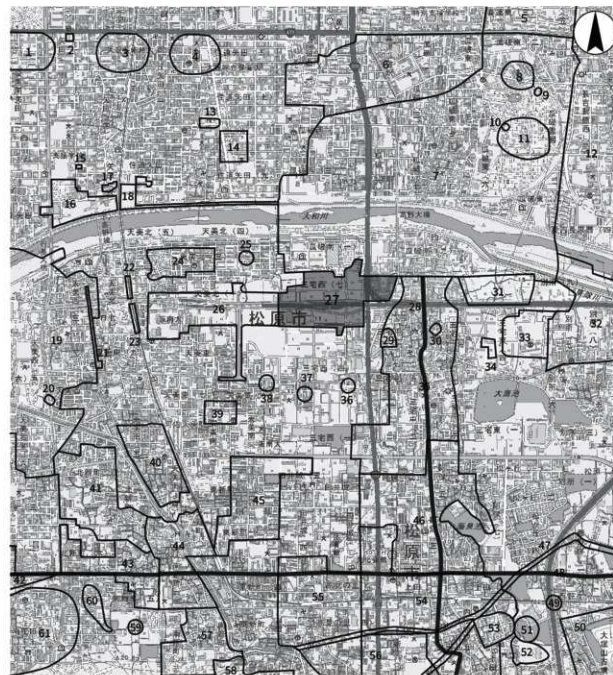


図1 三宅西遺跡調査区配置図

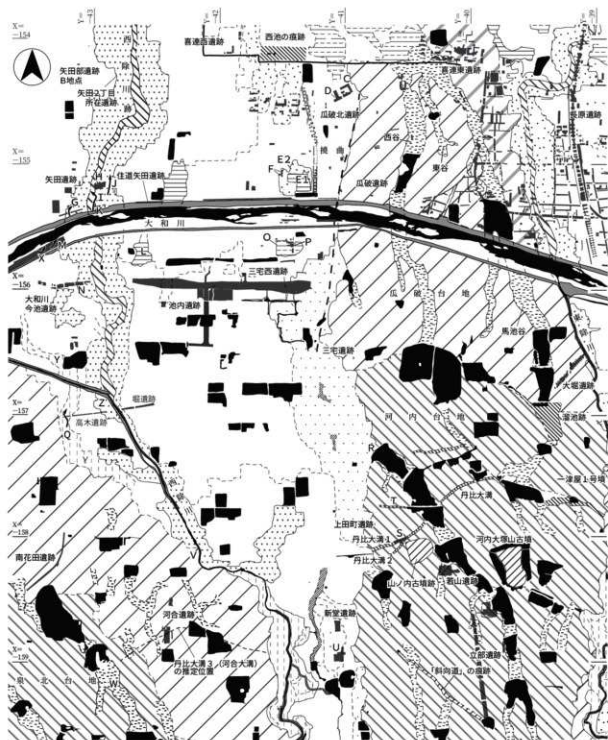


遺跡の範囲は、大阪府地保情報提供システムの文化財地図「埋蔵文化財」にもとづくベースマップは「電子地形図25000」（国土院院、令和5年10月5日調査）を使用。

- |                |             |             |              |              |             |
|----------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 1 矢田部遺跡        | 2 矢田部遺跡B地点  | 3 矢田2丁目所在遺跡 | 4 藤+丘矢田遺跡    | 5 真達東遺跡      | 6 瓜破北遺跡     |
| 7 瓜破遺跡         | 8 成本塚寺      | 9 花塚山古墳     | 10 ゴマ堂山古墳    | 11 瓜破院寺      | 12 長尾神社     |
| 13 中御堂年中神社境内遺跡 | 14 住道寺跡     | 15 矢田遺跡D地点  | 16 矢田遺跡      | 17 矢田遺跡C地点   | 18 住道矢田遺跡   |
| 19 大和川今池遺跡     | 20 瓜塚古墳跡    | 21 天美西遺跡    | 22 天美北6丁目北遺跡 | 23 天美北6丁目南遺跡 | 24 城道寺遺跡    |
| 25 城道寺東遺跡      | 26 池内遺跡     | 27 三宅西遺跡    | 28 三宅西遺跡     | 29 鶴見山古墳跡    | 30 三宅西遺跡    |
| 31 三宅東遺跡       | 32 別所遺跡     | 33 蔵倉遺跡     | 34 蔵倉西遺跡     | 35 中野野街道     | 36 三宅西4丁目遺跡 |
| 37 池地下遺跡       | 38 天美東1丁目遺跡 | 39 天美南遺跡    | 40 堀遺跡       | 41 高木遺跡      | 42 船空東遺跡    |
| 43 清水遺跡        | 44 布志遺跡     | 45 東新町遺跡    | 46 阿保遺跡      | 47 丹比大溝      | 48 尾屋街道     |
| 49 西大塚山古墳      | 50 大塚山古墳    | 51 榎野+池跡    | 52 西山ノ内古墳跡   | 53 山ノ内古墳跡    | 54 上田町遺跡    |
| 55 高見の京遺跡      | 56 新宮遺跡     | 57 南新町遺跡    | 58 河合遺跡      | 59 藤田遺跡      | 60 東田遺跡     |
| 61 南花田遺跡       |             |             |              |              |             |

図2 三宅西遺跡と周辺の遺跡

河内平野南西部の地形と三宅西遺跡の位置



※ 昭和23(1948)年米軍撮影・昭和36(1961)年国土院航空撮影写真をもとに作成。  
 ベースマップは、大府有「1:3,000地形図」(昭和36(1961)年)・大府有「大阪府地形図」(昭和36(1961)年、1:3,000)を使用。  
 座標は世界測地系、座標距離1km単位で表示。

■ 主要調査地	● 湖池・水路	▨ 人工堤防	▨ 人工的凹地(湖・沼)	▨ 人工的凹地(溝・水田)	▨ 発掘調査データから推定される調査地の高内
▨ 段丘面Ⅰ	▨ 段丘面Ⅱ	▨ 構造分・埋没所(段丘面Ⅰ・Ⅱ)	▨ 低地Ⅰ	▨ 低地Ⅱ	▨ 低地Ⅰ-1
▨ 沖積リッジⅠA	▨ 沖積リッジⅠB(東限川・平野川周辺)・Ⅱ	▨ 沖積リッジⅡA	▨ 沖積リッジⅡB	▨ 沖積リッジⅡC	▨ 沖積リッジⅡD

※ 低地Ⅰ-1以内の範囲は不明瞭な相対高度換算。

図3 河内平野南西部の地形分類図(南半部)

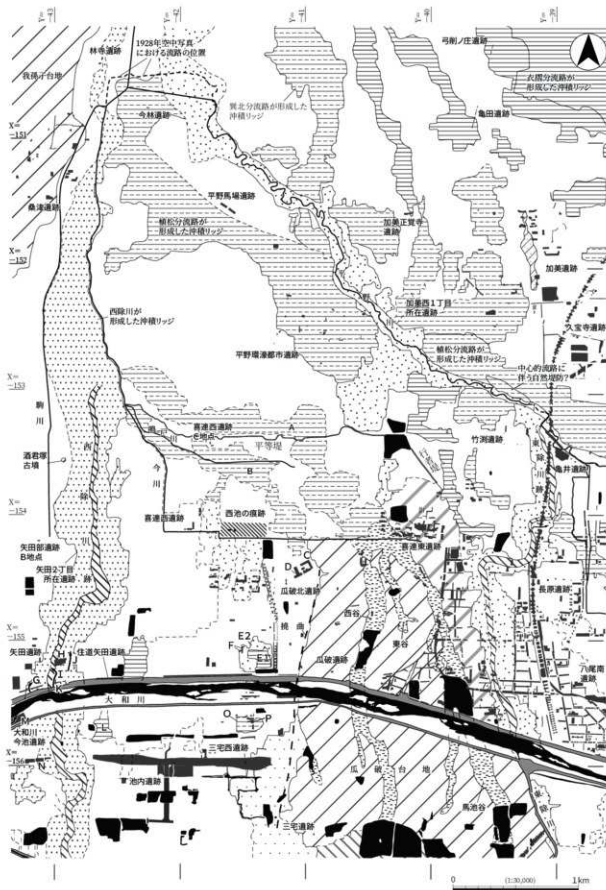


図4 河内平野南西部の地形分類図(北半部)

縄文時代から江戸時代にかけての三宅西遺跡の様子

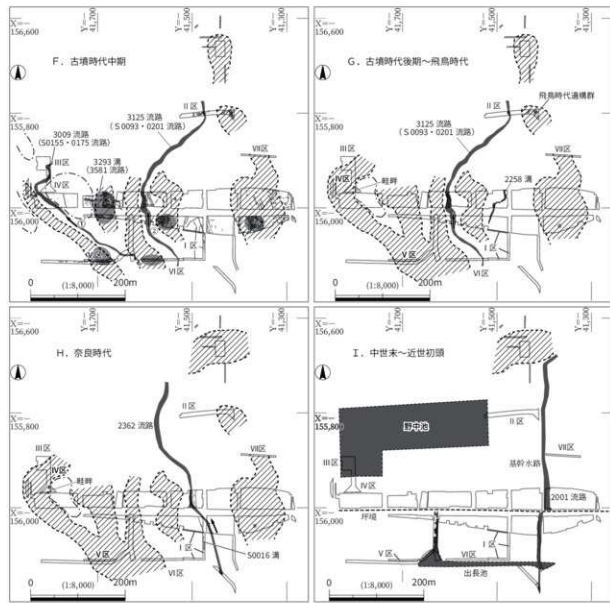
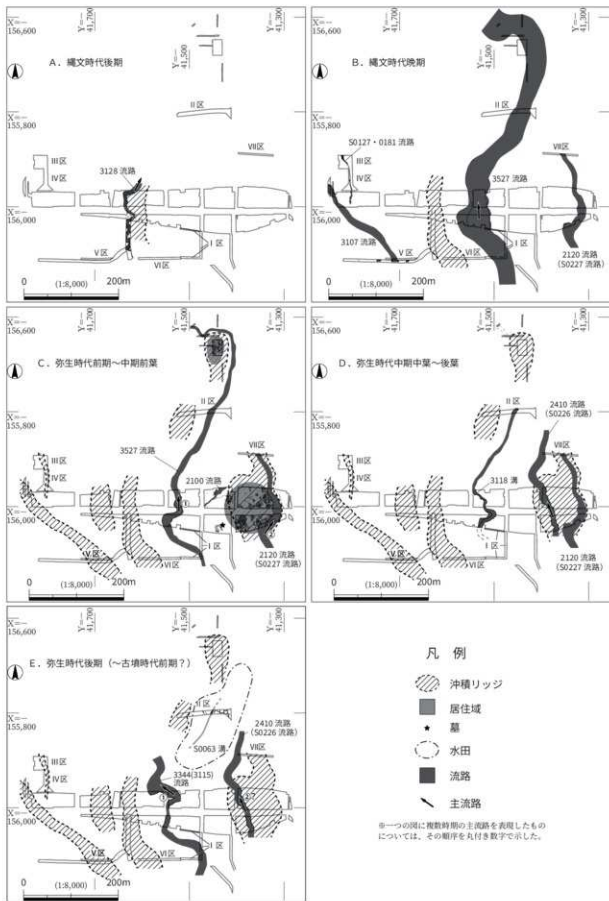


図5 三宅西遺跡における地形と土地利用のうっつかわり

縄文時代・弥生時代の三宅西遺跡 (1)

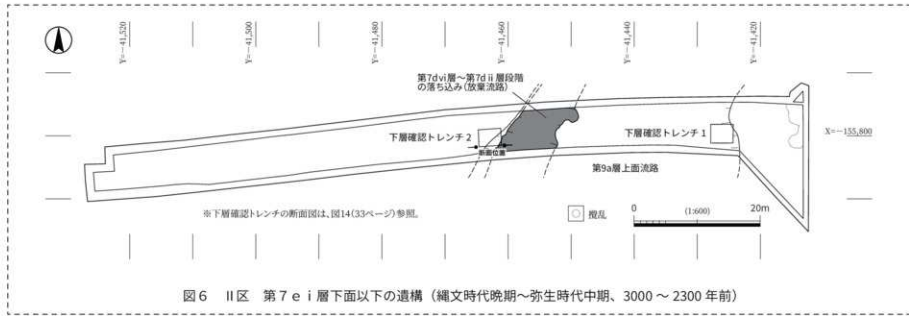


図6 II区 第7e i層下面以下の遺構(縄文時代晩期～弥生時代中期、3000～2300年前)

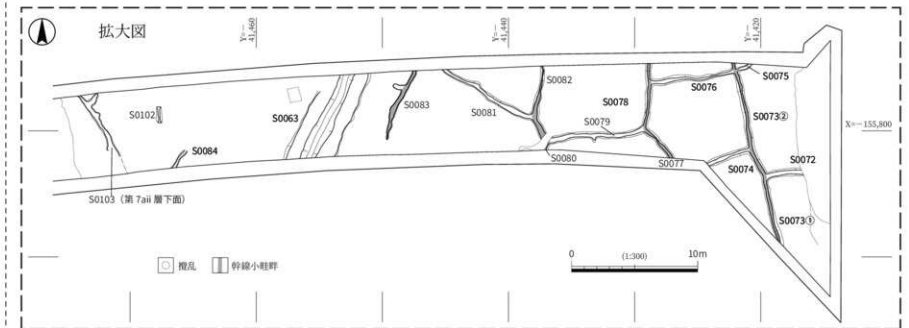
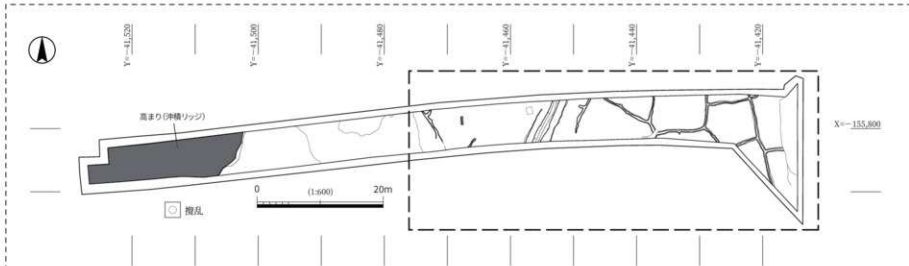
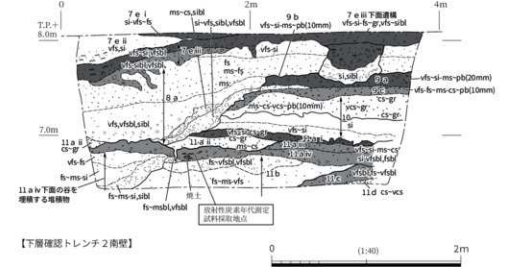


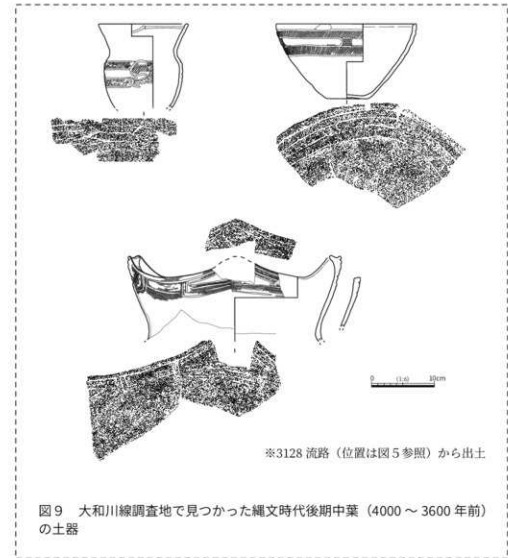
図8 II区 第7c層上面平面図(弥生時代後期～庄内式期頃、2～3世紀)



【下層確認トレンチ2南壁】

※放射性炭素年代測定結果(校正年代, 誤差範囲  $2\sigma$ (95.45%確率))  
 6188-6134calBP (26.70%), 6126-5995calBP (68.75%) 【PLD-51479】  
 →縄文時代前期後葉にあたる年代

図7 II区 下層確認トレンチ2断面図



※3128 流路(位置は図5参照)から出土

図9 大和川調査地で見つかった縄文時代後期中葉(4000～3600年前)の土器

縄文時代・弥生時代の三宅西遺跡 (2)

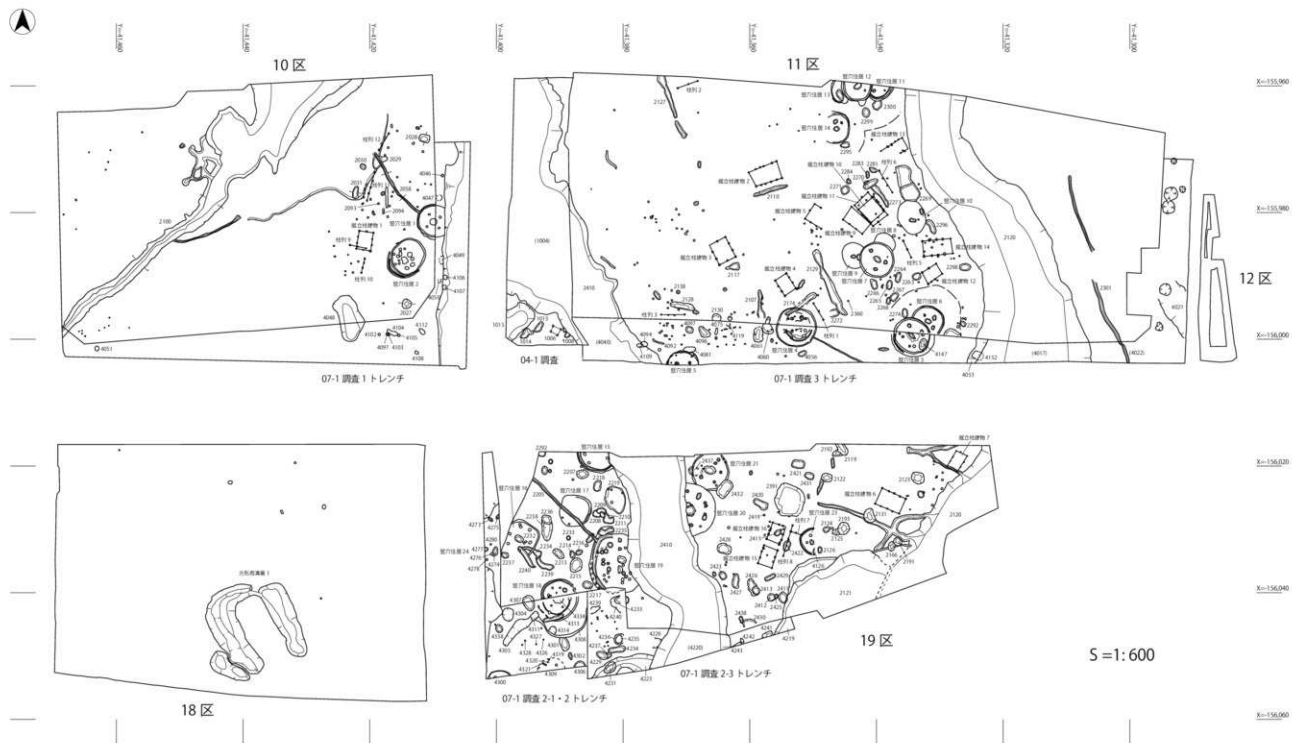


図 10 大和川線調査地東部でみつかった弥生時代中期前葉（紀元前4～3世紀）の集落

古墳時代中期の三宅西遺跡—流路に設けられた「水制」

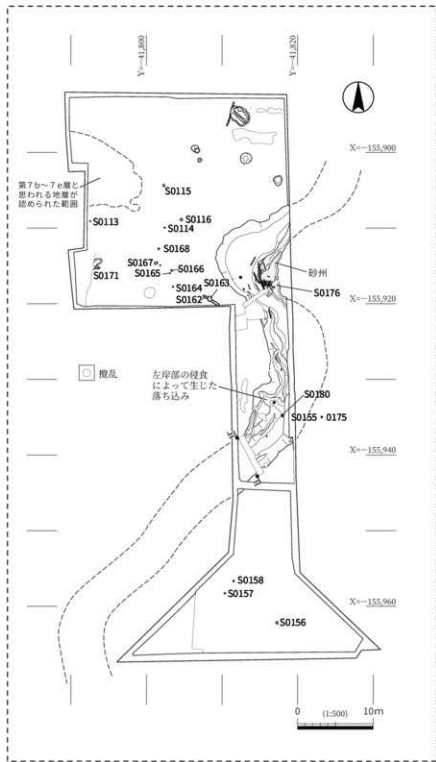


図11 III・IV区 第7 a ii層関連遺構平面図（古墳時代中期、5世紀）

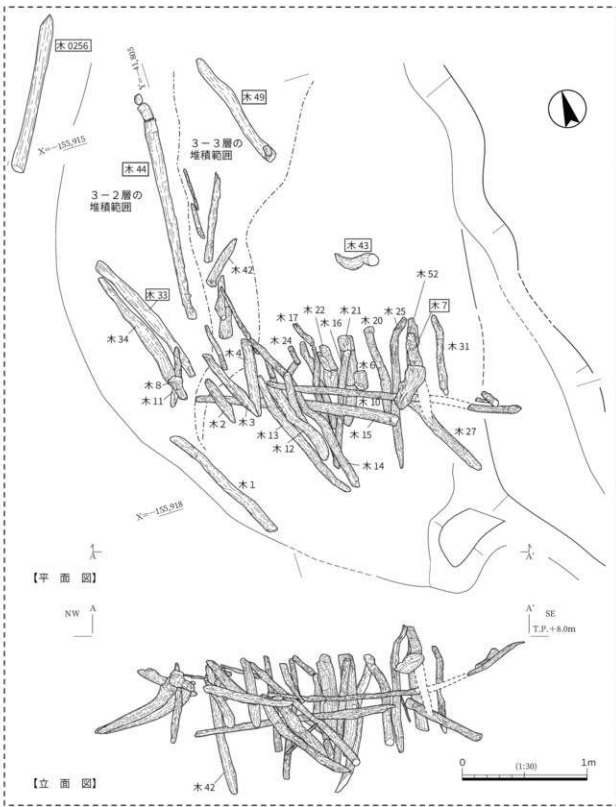


図12 III・IV区 S0176杭列平面図・立面図

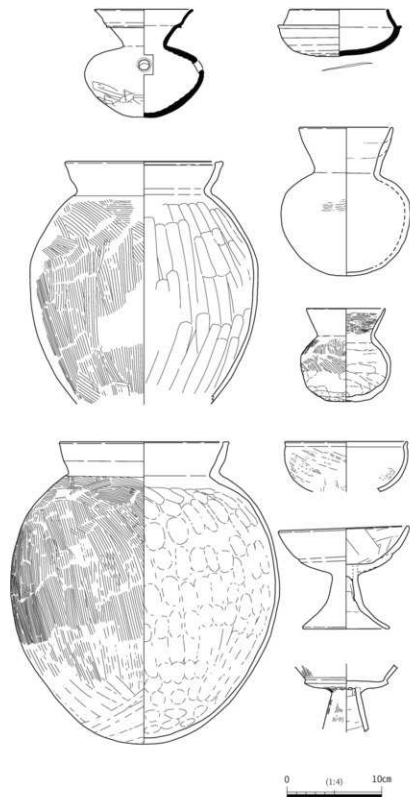


図13 III・IV区 S0155・S0175流路出土土器

※水制とは、流路の水の流れを制御して河床や河岸の侵食を防いだり、砂を堆積させることで砂州の発達を促したりするための治水施設のことである。

5世紀の河内平野では、大和川主流路である久宝寺分流路における大規模な水制群のほか、複数の流路において水制が検出されている。

江戸時代の三宅西遺跡－「野中池」の堤の調査

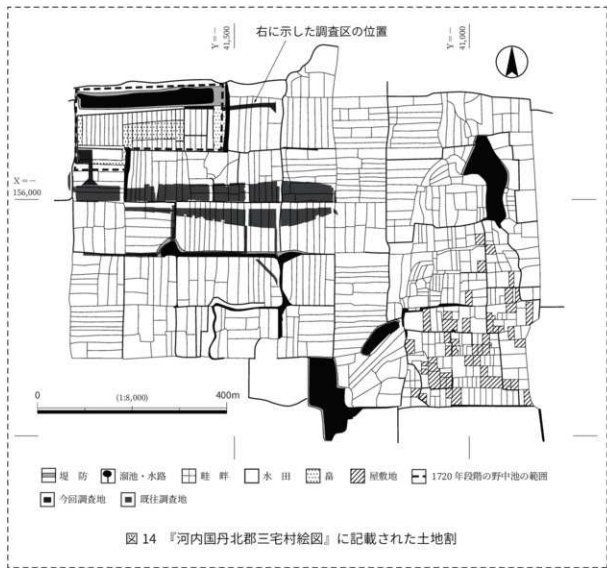


図 15 II区 第2～6層関連遺構平面図

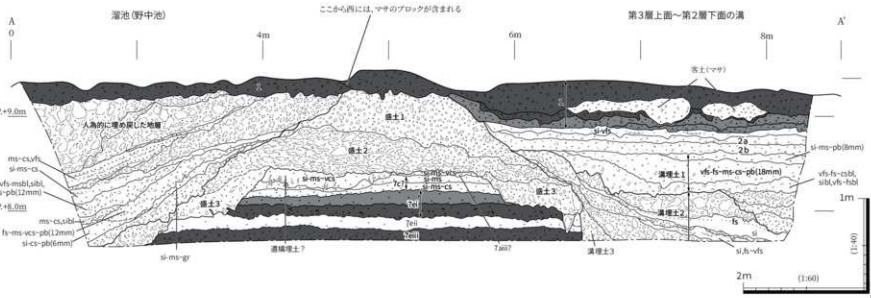


図 16 II区 第3 a層上面「野中池」堤断面図

※江戸時代の三宅村の様子を描いた絵図は3枚存在している。

- (1) 『河州丹北郡三宅村絵図』(享保5〔1720〕年12月作成)  
→野中池は図14の破線の範囲として描かれている
- (2) 『河内国丹北郡三宅村絵図』(年不詳、延享元～4〔1744～1747〕年頃か?)
- (3) 『三宅村移産絵図』(寛政7〔1795〕年8月作成)  
→(2)・(3)では、野中池は現代と同位置に描かれている